

35 和歌山県高野町における総本山金剛峯寺文化観光拠点計画

計画作成・実施体制

文化観光拠点施設(設置者):
 総本山金剛峯寺(宗教法人金剛峯寺)
 文化観光推進事業者:
 一般社団法人高野町観光協会、株式会社DMC高野山、
 学校法人高野山学園、凸版印刷株式会社、南海電気鉄道株式
 会社、宿坊協会不動産・IT開発管理株式会社

計画期間

2021年度～2025年度(5年間)

目標

- 文化資源の魅力理解度とプログラム満足度(5段階評価)
 2021年度 4.1→2025年度 4.5(+0.4ポイント)
- 高野町への来訪者数
 2019年度 148.2万人→2025年度 180万人(1.2倍)
- 高野町全体の来訪者消費金額
 2019年度 6,491百万円→2025年度 7,800百万円(1.2倍)
- 外国人の宿泊者数
 2019年度 108千人→2025年度 109千人
 ※10年後(2030年度)には2019年度(コロナ前)の2倍

文化観光拠点施設機能強化事業

- 文化資源の魅力の増進
 - 高野山の文化資源の見どころ・魅力について伝える文化観光ストーリーを造成し、ツアー・研修・イベント等の他事業に落とし込んでいく
- 文化についての理解促進
 - 「高野山デジタルミュージアム(仮称)」シアターのVR等コンテンツと来訪者のスマホを連動させた周遊促進。周遊先案内板もスマホ連動
- 文化観光に関する利便の増進
 - 交通事業者等の周遊・共通チケットの拡充
- 飲食、販売、宿泊等との連携の促進
 - 文化資源の魅力を活用した限定飲食メニューや土産物の共同開発
- 国内外への宣伝
 - 多言語Webサイト、国内外プロモーション
- 施設又は設備の整備
 - 「高野山デジタルミュージアム(仮称)」の付帯サービス強化(Wi-Fiや多言語サイネージ設置、貸出用小型端末配備)

文化観光推進事業費(5年間の計画ベース)

481百万円(うち、文化観光推進事業補助金262百万円)

計画区域

和歌山県高野町



中核文化観光拠点施設
 (主要な文化資源)

主要な文化資源
 (文化財等の種類)

飲食施設
販売施設

宿泊施設
その他施設